

須坂高校新聞

令和4年
3月号
新聞委員長

先輩という存在

大体育館で、2月28日(月)に昇龍会、3月1日(火)に卒業式が行われた。昇龍会は生徒会役員のみ、卒業式はオンラインでの参加となった。

須坂高校の3年生を送る会は昇龍会と呼ばれる。今回の昇龍会は学校生活の振り返りと3年生の担任の先生方からのメッセージ動画が贈られた。また、3年間の思い出や今の想いなど話したい人が自由に語る、自由スピーチも行われた。卒業式では卒業証書授与、送辞、答辞などが行われ、記念品贈呈ではスタバ用大型液晶モニターが贈られた。

昇龍会に対して、「送られる側になると2年生の時とは違って、本当に卒業するんだな、



卒業式を迎えられた3年生

大人に近づくんだという感情になりました。「卒業する我々のために学校生活を懐古させる素晴らしい動画を制作してくれただけでなく、旧三役や生徒に話をさせていただく機会までいただき、大変思い出に残る会でした。企画してくれた生徒会には改めて感謝します」と卒業生の神保杏樹さんと青木綾哉さんはコメントを残してくださいました。また、私たちが在校生に向けて、「私は、卒業してみ

てみる」という思いが、卒業生のうちにしか出来ないことが沢山あると感じました。多くのことを経験して、人生の思い出になるような高校生活を過ごして欲しいです！「卒業生一同須坂高校で過ごした3年間で共に、昇龍会・卒業式はかけがえない思い出になったと思います。須坂高校の皆さん、お世話になりました！」と笑顔を見せた。

皆さんにとって先輩とはどのような存在だろうか。頼れる憧れの存在だと感じる人もいれば、ただ1、2歳違うだけと考える人もいると思う。全く関わらない人もいれば、部活や生徒会、りんどろや龍制作で関わった人も多いのではないだろうか。私自身、様々な場面で先輩方と関わらせていただいていたため、卒業が近かったため、卒業されて少し悲しいと思うと同時に、次は自分の番なんだと強く感じた。皆さんは何を思っただろうか。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう！

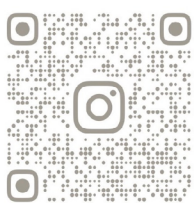
皆さんは「LET'S TRY プロジェクト」を知っているだろうか。名前も聞いたことない人がほとんどだと思うので、大まかに説明する。

このプロジェクトは昨年12月に、須坂市地域おこし協力隊の井上陽介さんと、須坂高校の古民家再生プロジェクトに参加している1・2年生(21名)が連携して立ち上げ、空き家や古民家を活用し、高校生の居場所を作るプロジェクトである。今後は須坂創成高校、須坂東高校の有志メンバーも参加予定だ。「空き家の改修から、その資金調達、運営までを高校生自身の手で行い、自分の居場所を自分たちで作り上げる。高校生の自分たちで一体どこまでできるのか、という高校生の限界に挑戦する。その過程の中でたくさんの方々と関わることで、地域交流をし、人生の経験値を増やす」ということを趣旨に活動している。具体的なプロジェクトの内容としては、「市内在学や市内在住の現役高校生のみが使える無料の学習スペース

空き家をカフェや学習スペースに！ 「LET'S TRY プロジェクト」始動！

ス」と「月に数回のみ週末に営業する高校生カフェ」を今後、約1年かけて改装していく予定だそう。プロジェクトに参加している高校生メンバーは「学習スペース部門」「施設運営・管理」、「飲食部門」(商品開発)、「物販部門」(高校生カフェ)に所属し、それぞれの部門が企画する事業を開業・運営する。現在は建物やスペースの名前決め、改装資金捻出のための企業訪問等を開始。それに加え、週末に建物の改装にも着手している。

基本的に2週間に1回ミーティングを開き、日曜日も不定期で行っているそう。興味のある人は左にあるインスタアカウントをフォローしてみようか。見学や参加希望の場合は、周りの参加メンバーか2年4組の勝山紗穂さんまで。



COTO...2

活動の様子や商品の宣伝に使っていく予定です！

りんどろ祭のクラスタ被をイメージした4組の黒板

